

製品名: hnRNP L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12149**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	HNRNPL
別名	HNRNPL; HNRPL; P/OKcl.14; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein L; hnRNP L
遺伝子 ID	3191.0
SwissProt ID	P14866
免疫原	抗血清はヒト hnRNP L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

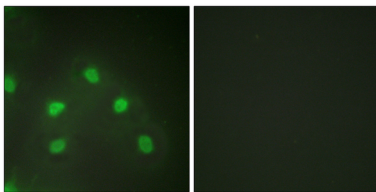
背景

mRNA 前駆体と成熟 mRNA を含む異種核 RNA (hnRNA) は、特定のタンパク質と会合して異種リボ核タンパク質 (hnRNP) 複合体を形成する。異種核リボ核タンパク質 L は、hnRNP 複合体と安定して会合しているタンパク質の 1 つであり、他の hnRNP タンパ

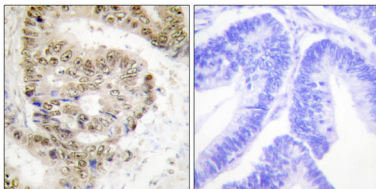
ク質とともに、mRNA の形成、パッケージング、プロセッシング、および機能において主要な役割を果たすと考えられる。異種核リボ核タンパク質 L は、HNRP 複合体の一部として核質に存在している。HNRP タンパク質は核質外にも同定されている。mRNA 結合タンパク質と hnRNP の交換は、mRNA を核から細胞質に輸送することを伴い、HNRP タンパク質は核と細胞質の間を往復することが示されているため、細胞質での機能も有する可能性がある。異なる機能をコードする 2 つの転写バリエーション：機能：このタンパク質は、異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) 複合体の構成要素であり、pre-mRNA が細胞質内で機能的かつ翻訳可能な mRNA となる前に行われる処理過程の基質となる。L タンパク質は、両生類ランブブラシ染色体のランドマークである巨大ループを含む、ほとんどの新生転写産物と関連している。PTM：L タンパク質のいくつかの等電点型は、おそらく翻訳後修飾の結果である。類似性：3 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。

研究分野

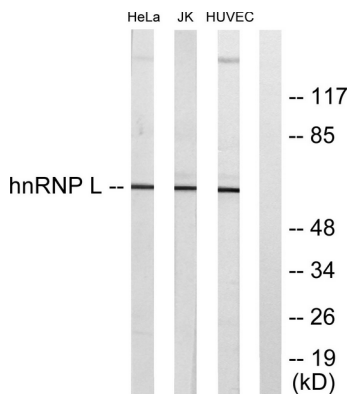
画像データ



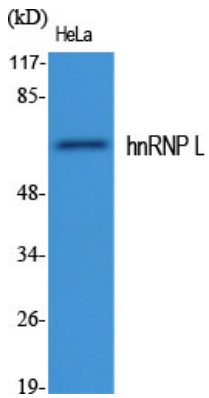
hnRNP L 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



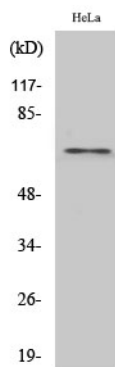
hnRNP L 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像。



HeLa 細胞、Jurkat 細胞、HUVEC 細胞のライセートを hnRNP L 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロックした。



hnRNP L ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



hnRNP L ポリクローナル抗体を使用した HuvEc 細胞のウェスタン ブロット分析。